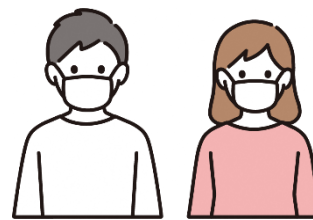


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の予防と対策

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶連菌感染症）は、例年「春から初夏」にかけてと「冬」に学童期の小児に流行する感染症です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は主に飛沫感染と接触感染により感染します。予防、拡大防止のために、こまめな手洗いや咳エチケット等の基本的な感染防止対策を一人ひとりが心がけてください。咽頭痛がある場合は早めに医療機関等を受診し、検査を受けましょう。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 の症状と予防・対策



道民の
みなさまへ

主な症状 知ることが第一歩

- 38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌等の症状
- 熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善
- 全身に発赤が広がる「しょうこう熱」に移行する場合等がある



感染を防ぐためにできること

予防には手洗い・
咳エチケットが有効



流行時はマスクの着用も有効
有効なワクチンがなく、
発症時は抗菌薬による治療

症状が改善しても、
主治医に指示された期間の服薬が大切



咽頭痛がある場合は
早めに医療機関で受診し、
検査を受けましょう

